

## 藤島小の学社連携事業 GG愛好者と交流深め



会場は八栄島グラウンドに急ごしらえの13ホール。ペアは、ボールもステックも同じ物を使い、長距離の2ヶ所以外は生徒が先に打つというルールです。

あいにく天気は小雨が降ったり止んだりで、こんな天気でも、初めての顔合わせでも、賑やかに進みました。

学社連携事業ということで、藤島小学校6年生とグラウンドゴルフ愛好者との交流会が5日、八栄島地区活動センターで行われました。

主催は藤島小地域の3自治振興会と小学校。生徒52人に大人が各1人つく52のペアチームです。

初めての場所です。初めてのことでも、ホ

## 藤島方面隊の消防操法審査会



8日、藤島体育館駐車場で開催され、ポンプ車の部で4・3・1班(長沼・表小路)、小型ポンプの部で4分選抜(長沼)が優勝しました。今年度は8月5日の庄内大会(小型ポンプの出場枠がなく、5つの分選抜チームの競技とし、ポンプ車は3・3・3班(下山元)が庄内大会に出場します。

ールインワンが2つ、男女各一人出ました。見ていた人はビックリ、当人は大喜びで拍手でした。



昼食はおにぎりと自治振興会のお母さん達が作ってくれた豚汁。運動の後で美味しい、美味しいの声が出て、あの人が80いくつ位で、自分は76だなどと会話が交わされ、お年寄りが居る家庭の子どものようでした。

それぞれのペアでは生徒が作ったシオリが渡され、学校の状況と自分らが頑張っている事などが書いてありました。

あるペアでは金管バンドでホルンを吹いていること、バレーで責任ある役をしているなどと会話が交わされていました。(石川勝雄)

## 【絵を描く】 川を思う

加藤貞雄(山王町/上平形出身)

だれもがそうであるように川の思い出は限りなく多い。

子どもの頃の「雑魚しめ」や「水あぶり」の小川、あらゆるものを洗ったり流したりした「堰」、それに時折見舞われる大雨洪水の河など々。

私は郊外の川の土手を散策するのが好きで日課のようになっていく。

水の流れを見つめたり、遙かな月山、鳥海、金峰、母狩の山々を眺めるのは至福の時。画興が湧いてくる。

初夏、青々と繁けるスキの中から俗称ゲゲジと呼ばれる小鳥のリズミカルな啼き声や、秋は川面に逆波をおこしながら水音を立てて遡上する鮭、土手には帰化植物のセイタカアワダチソウの群生が、在来のススキを押しつけて我もの顔の風景は

もう定着している。

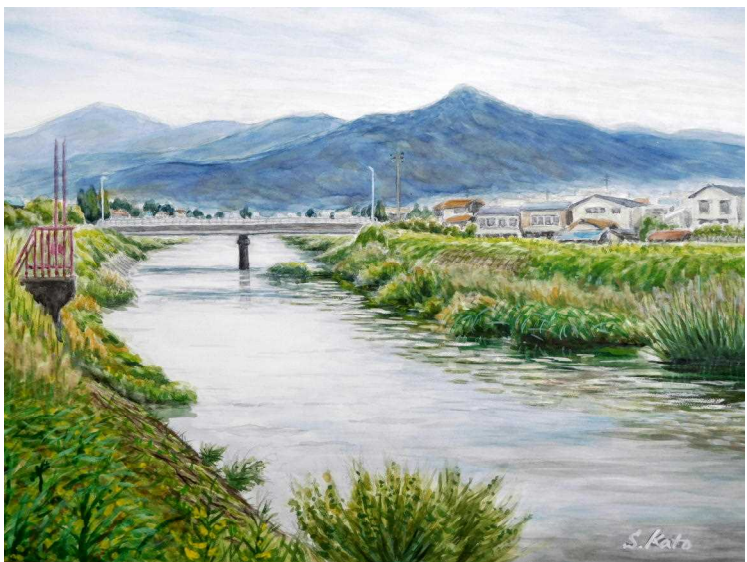
他方、こんなこともある。対岸の村を「川向こう」と呼んで自分達の村と区別して交流を拒んできた。

少年の頃、上平形集落の私たちは藤島川を挟んで向かいの藤島の下町の子どもたちと悪態のかぎりを尽くして口喧嘩をし、石を投げあつた。時には大人も加わって伝統のように継がれてきたのだ。

怖くて藤島の街中を通れなかった。間に川がある、ただそれだけで対立してきたのだ。今思っても不思議でならない。

川を境に言葉や生活習慣などの違いが今も指摘されている地域があるようだ。

良きにつけ悪きにつけ川は私たちの生活と密着してきた。  
※絵は内川。遠方は金峰山と母狩山。



森友・公文書改ざん徹底究明、安倍暴走内閣は退陣  
2019参院選 統一地方選挙  
**日本共産党演説会**  
7月16日(月・休日)午後1時30分  
会場 三川町なの花ホール  
代表 穀田恵二 党国対委員長  
副代表 紙智子 山形県議員  
副代表 孫田隆兵衛 国 議員  
副代表 関根 藤島支部長  
入場無料

# 中山道テクテク1人旅 23

新町 齋藤留治

日本百名山踏破を指している私の知人が「エツ」と驚くような経験を話してくれた。

中部山岳に聳える山を単独で登っている時、突然深い霧に包まれて一寸先も見えなくなっていたそうだ。

「引き返そうか、このまま登るか」と迷っている時（引き返そうにも登山道を見失って動く事が出来なかった）、霧の中から一匹のキツネがスーツと現れて立ち止り、「自分に付いて来い」というような仕草をしたそうだ。

どうしようか迷ったけれども、足が自然に動きキツネの後を追ったら、山頂の標識にたどり着き命拾いをしたそうである。

山頂までガイド？してくれたキツネ君はまたスーツと霧の中に消えたそうだ。

キツネ君を信じて付いて行ったのかどうか自分自身よく判らぬが、不思議なメルヘンの世界の出来事であったという。

（この知人は、山の小動物の為に、自宅近くの山でドングリを捨てたり、農家から不要な穀物等を貰ったりして、冬になると八が岳の麓にある通年越冬の山小屋にやって来る動物達の為に餌を運んだりしている。

その動物達の恩返しなのかもしれない。私も白馬岳に一人で

登っている時キツネに出会った事があったが、こちらはチョココンと座ってお菓子を貰うと藪の中へ。何時か恩返しに来るかな？。

さて「信じる」といえばアベ晋三首相、首相はテレビで「信無くば立たず」（無信不立）、とよく口にするが、ある漢語学者によるとアベ首相は意味をよく御存じないのではないかと

いう。この言葉には孔子が論語の中で「民衆の信を失ったら政治は成り立たない」という意味を込めているのであって、首相が解釈（自分が政治に対して有する信念・例えば現憲法の否定等）して口に出してい

るようなものではないという。

「そもそもアベ首相は論語を勉強した事があるとは思えない。『云々』を「でんでん」と読む無教養な人が、日本の首相では一国民として嘆かわしい。」と皮肉っていた。

次々と不祥事が起きても、不遜な顔で居直る姿を見ると、首相より有名な妻と手を繋いでいる方が相応しいと私も皮肉りたくなって仕方が無い。



## 日本人と憲法 NHK世論調査から考える① 女性が「セックス・ストライキ」

1 あらためて憲法を学ぶ 青山崇

NHKは2018年4月、18歳以上の男女に対し世論調査を行った。結果について私見を述べる。

調査項目は、  
1、いまの憲法を改正する必要がある。  
2、改正の必要、不要の理由。

3、9条に自衛隊明記 賛成か？ 反対か？  
4、憲法9条をどう評価するか。

5、9条に自衛隊明記に賛成か？反対か？  
6、自民党の改正4項目のうちどれに最も

関心があるか。  
7、今の憲法改正論議を進めるべきか、ほかの問題を優先すべきか。

8、憲法改正論議にどの程度関心があるか。  
9、いまの憲法の理念・内容をどの程度知っているか。

10、国民投票制度をどの程度知っているか？  
の10項目である。  
『女の平和』（紀元前411年刊）という喜劇本がある。

古代ギリシャでアテナとスパルタが長く戦

争を続けていた。

ある女性が、戦争を終わらせるため、ギリシャ中の女性に「戦争を続ける限り、男にエッチさせるな」と「セックス・ストライキ」を呼びかけ、紆余屈折の末、女性たちが勝利し平和がもたらされたという話である。



1項の改正必要は29%、不要27%と拮抗し、



閣議は決着を

ニュースを聞いてみると「閣議」は、火曜日と金曜日に開かれていたようだ。これが「定例閣議」で、臨時にも開かれ、時には「持ち回り」という報道を聞くことがある。

▲総理の主催で、出席できるのは大臣だけ。

秘密会議で全云一致制なのだそうだ。誰が何と喋ったかは秘密でも、結論は出すんだが、案外、各省が練りに練って出すものなれば、質問の意見だのは無く決まるものカモ。でも「記憶にない」・「記録が無い」が流行りの諸侯の集まりの顛末は、誰が・どんな形で残すものだろうつかない。

▲いずれも・どんなものでも、国の行先を左右することにつながる。▲憲法の読み方を定めて戦争が出来る方

「どちらともいえない」が39%と4割である。必要・不要がほぼ3割である。4割の「どちらともいえない」層を不要にするかが課題である。

その際、その男女別を見ておく必要がある。男性は「必要」36%が「不要」29%を上回り、女性は「不要」が半数近い47%で、「必要」21%、「どちらともいえない」25%であり、今も女性の平和志向が強いことを示している。

向にしたり、閣議決定になじまない森友に「私や妻は関係ない」などがあつたりしても。

▲しかし、これの事務局ナントは聞いたことはないが、日本の全てを賄う仕事をするんだから、とんでもない数の事務局長員がいなくて進まないことは進まないでしようや。しかも週2回開かれる。ここに出されるのもやはり紙に書かれたもので、議案と呼ぶんだらうか。マスコミへの発表は？

▲俺には解らないことだらけだが、閣議で結論を出してもらわなければならぬことがある。それは、セクハラについての認識と対応だ。俺は外務大臣を支持するが、セクハラを受けた人は名乗り出ると言う財務大臣との違いをだ。総理も2人の大臣も、事務担当も口に出せないのかネー。どっちに与しても徳はないってカ！。(石川)